道中だより

第　370　号

令和２年６月11日発行

・巻　　頭　　言
・北海道中学校長会総会研修会
・役員・理事一覧
・運営方針及び活動の重点
・地区だより・論文
・さりながら・文芸
・事務局日誌

叡智（えいち）を結集し羽撃（はたた）く　道中

北海道中学校長会 会長　鎌　田　浩　志

多くの校長先生がいらっしゃる中で道中会長職の任を仰せつかることは，私にとって重責であり，正直，力不足は否めませんが，「中学校長の職能向上と北海道の中学校教育の振興」を目的とする本会が，更なる発展を遂げることができるよう，皆様のお力をお借りしながら，全力で取り組んでいきたいと決意しております。

さて，昨年度末から，これまで誰もが経験したことのない新型コロナウイルスの感染拡大という深刻な状況下となり，全道・全国での長期間に亘る一斉臨時休校や分散登校，異例の卒・入学式の対応と，感染拡大防止の措置をとりながら新年度の学校再開を迎えました。その後，北海道は特定警戒地域に指定され，未だに終息の目途が立たない中，再度の臨時休校となり，各校長先生方の学校におかれましては，それぞれ創意あふれる学校経営方針の下で，生徒・保護者に寄り添った対応を基本に，生徒・家族・地域の皆が安全で安心できる生活をおくれるように日々奮闘されていることと思います。本会におきましても，４月当初に予定されておりました理事研修会，総会・研修会の開催をやめ，書面等による組織体制の確立を進めているところです。さらには，私たち校長の職能向上に資する研修の場である，北海道中学校長会研究大会函館大会と全日本中学校長会研究協議会和歌山大会を中止せざるを得ない状況とまでなってしまいました。皆様におかれましては，各地区校長会の活動の中心を担っていただいているのみならず，北海道中学校長会の副会長・運営委員・地区理事・幹事として，道中の活動に力強い御指導，御支援をいただきますことに敬意を表しますとともにあらためて感謝申し上げます。

私たち校長は，校長会の使命である「教育の質の向上」を目ざし，専門家集団としてのリーダーシップを発揮しながら，授業の質を高め，学校力の向上のために全力を注がなければなりません。これまでの各地区，各学校での実践の成果を十分踏まえ，地域や保護者と共有・連携・協働しながら，生徒たちに「学ぶ喜び」を更に実感させられるよう，粘り強く着実な取組を今後も進めることが重要であります。

道中の組織改革が行われてから，４年目を迎えます。私たちはこれまでの70年を超える道中の歴史の中で，先達が脈々と積み上げてきた思いをしっかりとつなげながら，札幌市を含めて全道各地区の校長先生方との強い連携と連動で「オール北海道」「チーム北海道」と強固なる姿として活動を推進させていきたいと決意するところです。目の前の大きな課題に直面しているこの状況下だからこそ，今年度のキャッチフレーズとして「叡智を結集し羽撃く　道中」を掲げさせていただきます。全道569人の会員による新たな組織体制で臨む道中の今後の道を拓きながら，活動を前進させることができるよう，校長先生方の御支援と御協力をあらためてお願いいたします。

今年度の運営方針及び活動の重点は全日中教育ビジョンの内容を踏まえ，校長としての主体性と指導性をもち，会員相互の連携のもと本道の中学校教育を推進し，道民の信託に応えるべく掲げられています。特に，①新型コロナウイルス感染拡大防止と今後の対応　②新学習指導要領全面実施最終年度の取組　③学校における働き方改革への取組に関連する課題について力点を置き，北海道の中学校長会が一体となって進めていきたいと思います。そのためには，全道各地の状況を把握していくことを大切にした組織運営に努めていきたいと考えます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により学校現場では通常と異なる対応が求められていることと思います。生徒たちの学びの保障や心のケアを含む心身の健康保持について，学校再開後を見据えた授業の質や量の確保のための指導計画の見直しや，学校再開後も含む継続的な心のケアが必要であり，制度の柔軟な運用に向けて関係機関への働き掛け等を含め，社会総がかりで生徒たちの学びの回復支援を図っていく必要があります。学校は学びの場であるとともに，人と安全・安心につながることができる居場所です。ＡＩ技術が高度に発達するSociety5.0時代にこそ，教師による対面指導や生徒同士による学び合い，地域社会での多様な学習体験が一層重要性を増し，多様な他者とともに問題の発見や解決に挑む資質・能力を育成することが求められると考えます。

学校現場に直に携わる校長だからこそできることを駆使し，生徒誰一人取り残すことのない学びの実現のため，チーム学校の観点から様々な専門職の学校のサポーターが学校を支える指導体制の充実や施策等を含め，全道の中学校長，教育関係者との情報共有・連携をこれまで以上に密にして取り組んでいきたいと考えます。

特に本会とのつながりが深い，北海道教育委員会，北海道小学校長会，そして，北海道公立学校教頭会とは，これまで築いてきた関係を維持し，本道の教育振興のため，ともに手を携えながら諸課題の解決に当たっていきたいと思っています。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

北海道中学校長会
第93回
総会・研修会

４月28日に予定されていた第93回北海道中学校長会総会・研修会は新型コロナウイルス拡大防止のため中止となった。代替え措置として書面による令和２年度運営方針及び活動重点案，各部業務計画案，会計予算案の審議及び承認を行い，総会宣言・決議を採択した。

宣　言

今日，我が国の教育は人格の完成を目指し，伝統と文化を尊重するとともに，豊かな人間関係で満たされる社会を創るたくましい日本人を育成する使命を担っている。

私たちは，新しい時代の中学校教育の課題に対応し，教育基本法をはじめとする関係法規，学習指導要領等の趣旨を踏まえ，自らの責任において全日中教育ビジョンに基づく学校からの教育改革を推進し，教育の真価を示さなければならない。

また，本道における学校教育には，自然豊かなふるさとに誇りを持ち，将来への夢や目標を実現するために，たくましく生き抜いていく力を身に付けさせる教育の推進が求められている。

北海道中学校長会は，「新たな時代を切り拓き，よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育」の推進と，当面する諸課題の解決に努め，新たな中学校教育の創造を目指し，道民の信託に応えることを宣言する。

決　議

第93回総会・研修会にあたり，以下の事項を決議し，その実現を期する。

一，人間尊重の精神に徹し，「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」を育む教育に努める。

一，全日中教育ビジョンを踏まえ，学習指導要領に基づく特色ある教育課程を編成・実施・評価・改善し，確かな学力の定着，豊かな心と健やかな身体の育成に努める。

一，現在の学校教育課題に即した研修を充実し，教職員の資質・能力の向上と使命感の高揚に努める。

一，創意ある教育活動を展開し，家庭・地域社会の信頼に応える教育を実現するため，人的措置をはじめ確固とした教育諸条件の整備・充実を期する。

一，「教科書無償給与制度」，「義務教育費国庫負担制度」及び「人材確保法」の堅持を要請し，国の諸改革の動向を踏まえて，教育水準の維持向上を期する。

一，学校が担うべき業務の明確化・適正化をはじめ，学校の組織運営体制の見直し，教職員の意識改革等により働き方改革を推進し，新しい時代に求められる学校づくりに向けリーダーシップを発揮する。

一，東日本大震災や北海道胆振東部地震をはじめとする災害等による被災地の教育活動正常化への支援と全道各地区・各学校の防災教育の充実に努める。

令和２年４月28日

第93回　北海道中学校長会 総会・研修会

令和２年度　北海道中学校長会　役　員　及　び　理　事

役職		氏名	市町村	学校
会長		鎌田浩志	岩見沢市	北村
副会長	１ブロ	宮澤知	小樽市	北陵
	２ブロ	竹森茂雄	当麻町	当麻
	３ブロ	佐竹聡	函館市	巴
	４ブロ	鎌田浩志	岩見沢市	北村
	５ブロ	喜多敦	幕別町	幕別
	６ブロ	和田正教	札幌市	北栄
事務局長		木村佳子	札幌市	中央
事務局次長		越田公美	札幌市	信濃
事務局次長		三浦利章	千歳市	千歳
会計理事		黒川裕之	小樽市	松ヶ枝
運営委員	１ブロ	新田元紀	江別市	江別第一
	２ブロ	倉博之	鷹栖町	鷹栖
	３ブロ	楢山聡	七飯町	大沼岳陽
	４ブロ	坂本博	登別市	幌別
	５ブロ	志道仁	中標津町	中標津
	６ブロ	須藤勝也	札幌市	啓明
地区理事	石狩	三浦崇史	江別市	大麻東
	札幌市	富川浩	札幌市	羊丘
	後志	木村和義	寿都町	寿都
	小樽市	岡本清豪	小樽市	長橋
	上川	大場八仁	富良野市	富良野西
	旭川市	田中義彦	旭川市	旭川
	宗谷	畠山博次	豊富町	豊富
	留萌	長尾真	留萌市	留萌

役職		氏名	市町村	学校
地区理事	檜山	福井順一	上ノ国町	上ノ国
	渡島	海野厚二	北斗市	上磯
	函館市	木村雅彦	函館市	五稜郭
	空知	鳥谷部賢太	滝川市	江部乙
	胆振	瀧澤義守	登別市	西陵
	日高	神成浩	新ひだか町	静内
	十勝	長江教貴	大樹町	大樹
	帯広市	東海林弘哉	帯広市	南町
	釧路	水野秀哲	標茶町	標茶
	釧路市	秋保和久	釧路市	幣舞
	根室	二本柳千尋	根室市	啓雲
	オホーツク	垣内孝仁	網走市	第二
経営部	副部長	佐藤誠	石狩市	花川
	幹事	小川満	千歳市	北斗
	幹事	加藤秀典	石狩市	花川北
研修部	副部長	笹川恒春	札幌市	発寒
	幹事	三浦英悟	札幌市	東白石
	幹事	吉本将樹	札幌市	稲積
対策部	副部長	井村信	岩見沢市	豊
	幹事	井畑靖彦	栗山町	栗山
	幹事	河村克也	滝川市	江陵
情報部	副部長	伊藤博明	室蘭市	桜蘭
	幹事	山田誠一	苫小牧市	沼ノ端
	幹事	立花和実	伊達市	伊達

第93回　北海道中学校長会総会
感　謝　状　贈　呈　者　芳　名

ご指導ありがとうございました

【退会者】

役職	氏名	学校名	経歴(数字は年度)
会長	新沼　潔	登別市立緑陽中学校	会長㉛,事務局次長㉚,情報部副部長㉙,情報部幹事㉘,対策部幹事㉗
副会長	伊東　義晃	旭川市立中央中学校	副会長㉛,地区理事㉚
〃	鹿野内憲一	札幌市立東栄中学校	副会長㉛,対策部幹事㉖～㉘
会計理事	法本　明洋	小樽市立銭函中学校	会計理事㉚,㉛,事務局次長㉘,情報部幹事㉗
運営委員	菊野　淳一	北見市立小泉中学校	運営委員㉛,副会長㉚,地区理事㉙
地区理事	安達　啓一	東川町立東川中学校	地区理事㉖,㉙,㉚,㉛
〃	風間　和夫	函館市立本通中学校	地区理事㉚,㉛
〃	加賀　誠	枝幸町立枝幸中学校	地区理事㉚,㉛

役職	氏名	学校名	経歴(数字は年度)
地区理事	松村　浩二	浜中町立茶内中学校	地区理事㉚,㉛
〃	冨田　正夫	羽幌町立羽幌中学校	地区理事㉛
	阿部　典子	釧路市立春採中学校	地区理事㉛
副会長	三觜　徳久	函館市立湯川中学校	副会長㉙
運営委員	水野　厚	江別市立中央中学校	運営委員㉙,地区理事㉘経営部幹事㉗
〃	西川　良宏	乙部町立乙部中学校	運営委員㉗,㉚
〃	金子　圭一	旭川市立北門中学校	運営委員㉙
地区理事	橋本　敏昭	札幌市立中央中学校	地区理事㉙

※役職名については，直近に担当した役職の順に作成しました。

〈第１号議案〉 令和２年度 運営方針及び活動の重点

激動する国際社会において，我が国では，21世紀にふさわしい，持続可能な社会の仕組みを構築するため，行財政改革，規制緩和，地方分権などの動きが進行している。

教育界においては，教育基本法及び教育関連法規の改正，教育再生実行会議の諸提案，教育振興基本計画策定など，一連の教育改革が行われ，新学習指導要領では，「社会に開かれた教育課程」及び「主体的・対話的で深い学び」の実現，「カリキュラム・マネジメント」の確立が求められるなど，学校教育は新たな変革の時期を迎えている。

私たち校長は，中学校教育の課題を踏まえ，人間尊重の精神に徹し，「社会を生き抜く力」とともに「よりよい社会を形成する力」を育む教育を推進し，生徒・保護者・地域の信頼と期待に応えるため，学校からの教育改革を推進するとともに，業務の明確化・適正化や組織運営体制の見直しと教職員の意識改革による「学校における働き方改革」を推進し，新しい時代に求められる学校づくりに向けて，これまで以上にリーダーシップを発揮し，より一層の充実に努めなければならない。

北海道中学校長会は，平成30年３月に策定された「北海道教育推進計画」の基本理念を受け，「教育の質の向上」を目指し，『チーム北海道』として地域・保護者，関係機関・諸団体の御理解と御協力，御支援をいただきながら，本道における教育課題の解決に努めていく。特に新学習指導要領の全面実施と学校における働き方改革の推進に向けて，地区校長会との連携を大切にしながら活動を進めていく。

また，東日本大震災や北海道胆振東部地震をはじめ災害等により被災した地域の復興を期し，教育活動の充実や災害の風化防止に向け，引き続き全力で支援するとととともに，今後起こりうる災害に対し，能動的に対応できる生徒を育成するため，各地区・各学校の防災教育・安全教育のさらなる充実を図る必要がある。

以上の認識に立ち，北海道中学校長会は，「全日中教育ビジョン～学校からの教育改革～（平成28年度改訂版）」の内容を踏まえ，以下の運営方針並びに活動の重点等に基づいて校長としての主体性と指導性をもち，会員相互の連携のもと本道の中学校教育を推進し，道民の信託に応えたい。

１　運営方針

⑴　校長相互の協力や信頼関係を一層深めるとともに，今後に向けた組織の充実・強化を図り，会の総力を結集して活動の効率化と諸問題の解決に努める。

⑵　道教委をはじめ，全日中，四種校長会等の教育関係諸機関やＰＴＡをはじめとした諸団体と緊密に連携して教育課題の解決に当たるとともに，家庭や地域に信頼される学校づくりに努める。

⑶　校長の学校経営力の向上に寄与し，道民の信託に応える中学校教育の創造に努める。

２　活動の重点

⑴　校長会組織の一体化に取り組みながら，活動の充実に努める。

①校長会組織が一体となった活動の推進並びに活動内容の充実

②広報活動の充実，各種調査内容の改善・充実及び諸資料の有効活用の推進

③教育関係諸機関，道小学校長会等の諸団体との連携強化

④組織としての連携を重視した会務運営及び地区運営の円滑な実施

⑤今後の状況を見通しての円滑な組織体制及び運営の充実

⑵　教育課題の解決を図り，学校経営の改善に努める。

①全日中教育ビジョン（平成28年度改訂版）を踏まえた学校からの教育改革の推進

②「第62回北海道中学校長会研究大会　函館大会」の開催

③時間外勤務縮減に向けた諸問題・諸課題への適切な対応

④学校運営研修・初任者段階研修・中堅教諭等資質向上研修等の各種研修会の適切な運営と内容の充実

⑤教員免許更新制にかかわる諸問題・諸課題への適切な対応

⑥学校職員評価制度における教職員の意欲を高める効果的な活用の在り方

⑦学校評価の効果的な運用と学校の活性化

⑧部活動の諸条件の整備と充実に向けた在り方の検討

⑨体育・文化活動の振興と支援

⑶　教育課程の整備と充実，特色ある学校づくり，確かな学力の定着と伸長，体力の向上に努める。

①新学習指導要領全面実施に向けた最終年であることを意識した教育課程の編成・実施・評価と改善

②確かな学力の定着と伸長，体力の向上への取組，道徳教育，健全育成，進路指導，特別支援教育，情報教育等の充実を図る特色ある教育課程の編成・実施

③基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る指導とそれらを活用する能力及び学びに向かう力を育てる指導及び評価の改善・充実

④地域学校協働本部やコミュニティ・スクールの導入等，学校・家庭・地域社会が一体となった創意工夫ある教育活動の推進

⑤小中連携・一貫教育等の校種間接続を意識した教育の推進

⑥豊かな人間性と健やかな体を育てる道徳教育・健康教育・食育の充実

⑦いじめ，不登校の問題への適切で迅速な対応と生徒指導体制の強化

⑧進路指導に関する諸課題の解決

⑨多様化した高等学校教育並びに入学者選抜方法への適切な対応

⑩防災教育・安全教育の推進

⑷　円滑な教育活動推進のための教育諸条件の整備・充実に努める。

①教職員定数の改善，少人数学級の実現，スクールスタッフ等の人的支援の拡大

②特別支援教育の充実のための条件整備

③免許教科外教科担任の解消並びに時間講師制度等の充実

④僻地校，小中併置校等における教育推進のための諸条件の改善・充実

⑤新学習指導要領の円滑な実施に向けた施設・設備やＩＣＴ環境の整備・充実

⑥教職員の資質の向上を図る研修の促進と内容の充実

⑦校長の人事具申権の尊重と人事異動要綱に基づく適正な配置

⑧校長・教頭・主幹教諭等候補者の選考方法の検討・改善と人材確保に向けた条件整備

⑨広域人事，管理職の管外交流の推進と条件整備

⑸　教職員の服務規律の徹底，教員の職責に見合った待遇改善に努める。

①教職員の服務規律の遵守と法規法令に基づいた適切な学校運営

②不祥事の根絶に向け，教職員の意識改革や自覚を促す指導の徹底

③「義務教育費国庫負担制度」並びに「人材確保法」の堅持と教育水準の整備・充実

④給与制度の見直しによる校長・教頭の待遇改善

⑤特別支援学級設置校及び小中併置校の校長・教頭の実態に見合った待遇改善

〈第２号議案〉　令和２年度　各部業務計画案

(1) 経営部

１　方　針

本会の運営方針・活動の重点を受け，学校経営に法的根拠を据え，教育活動の充実に努める。

⑴　教育制度，関係諸法規の情報収集と情報の提供，資料化に努める。
⑵　学校経営上の諸問題や管理運営に関する法制研究を行い，その解決に資する。
⑶　諸会議等を通じ，会員相互・地区との情報交換を図り，組織の連携・充実・発展に努める。

２　業務計画

⑴　諸会議の開催

①　経営部研修会
第１回経営部研修会　４月28日㈫
方針，業務推進計画の検討
第２回経営部研修会　２月12日㈮
年度反省，次年度への課題・展望とまとめ

②　小中合同学習会　７月17日㈮
質問・要望に対する学習会，道小と連携

⑵　法制研修会，地区別教育経営研究会の開催（今年度は道小が担当）

①　法制研修会の開催について
・単独開催の期間は，８月までを原則とするが，遅くとも10月までには完了する。
・講師・助言者は，各地区で確保する。
・法制研修会の会場費は，各教育局に請求する。（地教委との事前確認が必要）
・道中事務局からの役員の派遣は，原則として行わない。

②　地区別教育経営研究会の開催について
・開催期間は，原則として８～10月の３か月間とする。ただし，９月下旬又は10月上旬の木金曜日は学校行事と重なるためできる限り避け，夏季休業中の期間が望ましい。
・法制研修会と合同開催の場合，開催計画書（様式１）に法制研修の項目を入れて提出する。
・地区別教育経営研究会には，合同開催であっても，道中事務局より，役員を派遣することを原則とする。
・派遣役員の任は，各地区へのお礼や激励及び情勢報告や質問等に対する回答が主であり，講師を目的とした派遣ではない。
・事前に各地区から「質問・要望事項」（様式２）を集約し，それに対する調査研究を行い，回答をする。
・事前に派遣される担当幹事と地区担当者が綿密に説明時間，質疑の時間等を打ち合わせ，各地区のニーズに合った研究会になるようにする。
・会場費については，日本教育公務員弘済会北海道支部に請求すると，運営費として補助される。ただし，事前の申請が必要となる。

⑶　法制研究集録（今年度は道中が担当）及び学校経営の資料（今年度は道小が担当）の編集

・法制研究収録第51集（補遺集）は道中が担当し，２月発行予定。
・学校経営の資料は道小が担当し，７月中旬に各地区校長会へ送付予定。
・予算の関係上，前年度よりページ数を増やさないよう工夫し，紙ベースからの転換についても検討する。

⑷　関係諸団体との連携（日本教育会他）

(2) 研修部

１　方　針

今年度からの基本主題『新たな時代を切り拓き　よりよい社会を創り出していく日本人を育てる中学校教育』のもと，道中研究大会において研究交流を深めるとともに，各地区における研究を基盤とした研究活動の充実に努め，校長としての識見や指導力の向上を図る。「全日中新教育ビジョン～令和２年改訂予定」の内容を踏まえた研究活動を更に推進し，学校経営の充実に寄与する。

教育課程の編成・実施に資する調査研究を推進し，今日的課題の解明に努め，学校教育の推進と向上に役立てる。他部との連携を図り，業務の円滑な推進に努める。

⑴　第71回全日本中学校長会研究協議会和歌山大会の円滑な運営と研究内容の充実を図るために，開催地区並びに各地区研修担当者との連携を密にする。
⑵　第62回北海道中学校長会研究大会函館大会の円滑な開催及び研究活動の充実に向け，函館市中学校長会との連携を密にする。
⑶　令和２年度の研究を総括し，令和３年度「研究の手引き」の作成作業を行う。
⑷　教育課程に関する情報収集に努め，中学校教育における今日的課題を明らかにし，問題点の解明に寄与する。

２　業務計画

⑴　諸会議の開催

①　第１回研修部研修会　４月28日㈫
・研究方針，業務推進計画及び業務推進について
・第62回道中研函館大会，第71回全日中研和歌山大会について
・令和３年度「研究の手引き」の作成について
・教育課程に関する調査について（令和３年度の調査実施に向けて）
・各地区研究推進状況や令和２年度の研究計画について

②　道中研究大会合同研修会
（提案者・司会者等打ち合わせ会）　７月16日㈭

③　道小道中合同研修会（学習会）　７月17日㈮

④　道中研究大会全体研修会
（函館大会→宗谷大会）　11月６日㈮

⑤　第２回研修部研修会　２月12日㈮
・年度末反省，次年度への課題の検討と展望・まとめについて
・令和３年度以降の研究推進について
・令和３年度第63回北海道中学校長会研究大会宗谷大会（９月24，25日）について
・令和３年度第72回全日本中学校長会研究協議会静岡大会について
・令和３年度「研究の手引き」について
・教育課程に関する調査について（令和３年度の調査実施に向けて）
・各地区研究推進の交流について

⑵　研究活動の推進

①　第62回道中研函館大会と第71回全日中研和歌山大会の円滑な運営と研究内容の充実を図るため，当該実行委員会との連絡・情報交流を積極的に行う。また，道中研分科会提言及び全日中研提案に向けて，研修部として担当地区や発表者へのサポートを早目に行っていく。

②　研究資料及び情報の提供，研究校の紹介，その他，研究活動の推進

③　各地区研究推進の状況や各地区研究成果の交流を推進

⑶　関係機関との連携・調査，その他

①　文部科学省や北海道教育委員会，市町村教育委員会はじめ，全日中等の関係機関との連携や調査依頼について，各地区研修部担当者の協力のもと推進する。

②　第62回道中研函館大会の成功に向け，実行委員会との連携を密にし，研修部をあげて積極的にサポートを行う。

③　第71回全日中研和歌山大会事務局との連携や全日中事務局，各地区研修部担当者等との研究や研修に関する情報交換や連絡・調整を推進する。

④　教育関係団体との連携・調整を推進する。

(3) 対策部

１　方　針

本会の「運営方針及び活動の重点」を受け，学校運営上の問題について調査研究を推進し，学校経営の向上に役立てる。また，会員の職責に見合う福利厚生・待遇改善に関する業務を推進する。

⑴　中学校の実態や生徒指導等に関する情報収集，調査研究と，資料作成，情報提供に努める。
⑵　会員の福利厚生・待遇改善に関する問題解決・改善に向け，関係機関との連携強化に努める。
⑶　その他，緊急性のある課題や各種調査，情報に関することの対応と研究を推進する。

２　業務計画

⑴　諸会議の開催

①　対策部研修会（定例２回）
・第１回対策部研修会　　４月28日㈫
活動方針，業務計画の検討
・第２回対策部研修会　　２月12日㈮
活動反省，次年度の展望とまとめ

②　小中合同事務局研修会　７月17日㈮
道小との連絡，調整，情報交換
地区別教育経営研究会に向けての学習会

⑵　関係調査・資料作成の業務

①　「『働き方改革』の推進に関する調査報告書」の作成
…［依頼５月，回収８月，結果分析９～10月，編集11月，発行１月］

②　全日中諸調査　※各調査の発出時期は年度によって変わる。

調査内容	調査依頼日	調査の名称
教育研究部調査	月　日（　）	教育課程の編成・実施等に関する調査
生徒指導部調査	月　日（　）	健全育成の推進・充実のための研究等に関する調査
給与対策部調査	月　日（　）	【調査１】令和２年度　各都道府県・政令指定都市人事委員会の勧告概要 【調査２】令和２年度　各都道府県・政令指定都市校長会の給与等に関する令和３年度予算要望の概要

※教育研究部・生徒指導部調査は全道（小規模校，中規模校，大規模校）に依頼
※給与対策部調査は道教委担当者，事務局次長に依頼

③　「退職関係資料」（全道中運営要綱に掲載）
…［資料の更新４月］

⑶　関係諸団体との連携

①　北海道教育委員会　学校教育局（義務教育課，特別支援教育課，健康・体育課）
北海道教育委員会　総務政策局・教育職員局（教職員課，福利課，給与課）

②　北海道公立学校教職員互助会
③　北海道退職校長会
④　社団法人北海道退職公務員連盟

(4) 情報部

１　方　針

本会の運営方針と活動の重点を受けて，広報活動のより効果的な業務推進を図り，会員意識の高揚並びに組織活動の強化に努める。

⑴　広く，本会活動の状況や関係機関の情報，各種資料等を提供する。
⑵　各地区の活動や会員の研究成果，論説等の交流を図るとともに，各界から教育に寄せられる意見も掲載し，会員の職能向上に努める。
⑶　教育関係機関・団体との情報・資料の交流並びに相互の連携・協調を図り，教育世論の喚起に努める。

２　業務計画

⑴　諸会議の開催

①　情報部研修会（定例２回）
第１回　４月28日㈫　第１回情報部研修会
本年度の活動方針，業務推進計画の検討・協議
第２回　２月12日㈮　第２回情報部研修会
本年度の活動反省，来年度への展望等

②　小中合同事務局研修会
７月17日㈮　①道小情報部との研修，交流
②号外発行の打合せ

③　編集会議（随時）

⑵　機関誌等の編集・発行

①　「道中総会・研修会要項」の編集，発行
令和２年度「第93回総会・研修会要項」の発行
（４月28日㈫発行）
令和３年度「第94回総会・研修会要項」の編集
（令和３年４月発行）

②　会報「道中だより」の発行（予定）
第370号（６月11日）第371号（７月８日）
第372号（11月５日）第373号（１月22日）
※経費節約のため，372号・373号はＰＤＦ配信とする

③　号外「道小情報・道中だより」の発行
（今年度は道小担当，校正作業は道小・道中が協力して行う）
７月：北海道文教政策・予算策定に関する要望に対する回答
12月：道教委との文教施策懇談会・各課懇談会の特集

④　会誌「全道中」第90号の編集，発行（３月発行予定）
今日的課題をテーマとした特集記事を予定

⑶　道中ホームページ（HP）の充実について

本会活動の状況や各地区発行機関誌，会誌等の交流，関係機関の情報，各種資料等の提供の場としての運用とタイムリーな更新

⑷　全日中機関紙「中学校」の編集協力

「校長会だより」，特集「学校経営」，「私の納戸」「主張」等に関し，全日中編集部協力委員として，執筆割当てを計画・依頼

⑸　その他

事業，活動の記録

「自立・協働し，未来を創る子どもを育成する学校」をめざして

石狩・恵庭中　**鹿　野　秀　一**

石狩管内小中学校長会は，新会員13人（中４）を迎え，７市町村98人（中37）で今年度の活動をスタートした。本会は，教育改革の理念を踏まえ，「自立した人格」と「未来を切り拓く資質・能力」を育成する学校経営を目指し，学校力向上のための具体的な取組を推進している。その柱となるのが市町村単位，ブロックごとや全体の研修であり，これらを通して校長としての職能向上に努めている。各関係機関との連携も大切にしながら，石狩の風土に根ざした教育を推進していく。

【活動方針】

１　信頼される学校経営，管内教育の安定と充実・発展に努める。
２　職能向上をめざす研修活動の推進と教職員の資質向上に努める。
３　教育諸課題の把握とその解決に努める。
４　教育諸条件の整備や福利厚生の推進に努める。
５　組織の強化と実態に即した会務の推進に努める。
６　会員相互の交流活動の推進に努める。
７　令和３年度道小校長会研究大会石狩大会の成功に向け，組織の総力を挙げて準備に当たる。

新たな未来を紡ぎ，よりよい社会を創る力を育む札幌市中学校長会

札幌市・中島中　**高　橋　利　幸**

札幌市中学校長会は，17人の新しい仲間を迎え，葛西孝之会長の下，今年度の活動をスタートした。

札幌市は，「札幌市教育振興基本計画」をもとに，目指す人間像「自立した札幌人」の育成，札幌市学校教育の重点として「札幌らしい特色ある学校教育」「知・徳・体の調和のとれた育ち」等の推進に取り組んでいる。

本会の今年度は，「命を大切にする指導」「いじめや不登校等の解消に向けた取組」「学ぶ力の育成に向けた授業改善」「体力と運動能力の向上」「規範意識・情報モラルの醸成」「学校評価や学校職員評価に関する課題」「学校における働き方の見直し」等に一層真摯に取り組み，新型コロナウイルス感染症への対応も含め，「情報共有と行動を支えあう連携」を図りながら，組織と機能を，一層充実させ，校長としての研さんと職能の向上を目指している。

【活動の重点】

１　校長会の組織・運営の強化と研修の充実
２　学校経営の改善と充実
３　学校経営の条件整備と教職員の待遇改善
４　教育関係機関や諸団体との連携強化

【研究活動】

『新たな未来を紡ぎ，よりよい社会を創る力を育む札幌市中学校教育』を研究基本主題に掲げ，３か年継続研究の取組の２年目となる。

地区だより

未来の創り手となる子供たちに責任をもつ学校経営の推進

上川・富良野西中　**大　場　八　仁**

上川管内校長会は，紺野元樹新会長のもと，新会員18人（新採用15人）を加え，22市町村92人の会員で新年度の活動を開始した。「愛情と信頼」「研さんと結束」の合い言葉を継承し，「ふるさとを愛し，他者と協働しながら未来を切り拓く力を育む学校の在り方」の究明と住民の負託と信頼に応える上川教育の充実発展に寄与するため学校の教育力向上に努めている。今後も現状の深い認識と教育改革の動向を見極め，迅速な情報共有と組織的な対応で管内教育の一層の充実を図る。

【活動の重点】

１「愛情」と「信頼」に基づき，創意に富む信頼される学校経営の充実に努める。
２　校長自ら「研さん」に励むとともに，教職員の一層の資質・能力の向上に努める。
３　組織活動の充実と確かな情報共有を図り，会員の「結束」を強化するとともに，教職員の処遇改善に努める。
４　上川教育局・地教委及び道小・道中，教育関係機関・団体と連携し，教育課題の解決及び北海道教育をリードしていくことに努める。

信頼される中学校教育の創造を目指し，「知恵を結集して，さらに，前へ」

旭川市・神居中　**林　　欽　一**

旭川市中学校長会は，田中義彦会長のもと，新会員11人（新採用４人）を迎え，27人の会員で新年度の活動を開始した。「知恵を結集し，さらに，前へ」を基本姿勢と定め，旭川市教育大綱の基本方針「主体的に学び力強く未来を拓く人づくり」の具現化のため，校長会組織の一層の活性化を図っている。教育改革の動向を見極めながら，会員相互の真摯な研さんと連携を図り，次のような運営方針を掲げ，中学校教育の充実・発展に努めている。

【運営方針】

１　旭川市民の願いや期待に応え，信頼される中学校教育を目指し会務の推進に努める。
２　中学校長としての使命を自覚し，時代の進展に対応する中学校教育の在り方を見極めるとともに，その充実・発展に努める。
３　教育改革の内容を適切に見極め，具体策をもって，主体的にその取組を進める。
４　旭川市教育委員会をはじめ，関係機関等と密接に連携し，教育諸課題への適切な対応に努める。
５　校長としての資質向上を図る研修に努める。
６　会員相互の意思疎通を図り，活動の活性化・効率化に努める。

管内教育の充実・発展を支えるために『学び続ける校長で』

胆振・鵡川中　**広　田　智　人**

胆振管内校長会は，苫小牧市立苫小牧西小学校の土井嘉啓会長のもと，新会員20人（採用18人）を加え，11市町の小・中学校長111人の会員で，今年度の活動をスタートした。

本会の理念と会員個々の教育に対する深い愛情を礎として，管内教育の充実・発展を支えてきたという自負をもち，教育の今日的課題の解明に先導的な役割を果たすため全力で取り組んでいく。

【活動の重点】

１　校長としての職能向上を図る研修の充実
２　学校経営の適正化を図る研究・実践及び教育条件の整備・充実
３　教職員の意識改革と資質能力の向上による学校改善と後継者の育成
４　道小・道中，第４ブロック，各市町校長会との組織的な連携の重視と行政諸機関並びに関係団体との連携の強化と働き方改革の着実な推進
５　会員同士の親睦と福利厚生の充実に関する事業の推進
６　諸事業の機能的・効率的な運営改善と予算執行の適正化

管内課題の解明と職能向上を目指し，積極的に発信，行動する日高地区校長会

日高・静内中　**神　成　　浩**

日高地区校長会は，小学校長27人，中学校長15人，計42人で構成されている。日高管内では自然豊かな環境の中で明るくのびのびと子供たちを育てているが，独自の教育課題が少なくない。会では研修活動を活発化し会員の職能向上を図っている。それぞれの校長がリーダーシップを発揮し，よりよくカリキュラムをマネジメントすることで課題解決を図り，管内教育の充実，発展を目指している。

【活動の重点・内容】

１　信頼と秩序に基づく学校経営の推進
・学校経営ビジョンの明確化と実行力のある校内組織体制の確立
２　社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善
・新学習指導要領の趣旨を実現する教育課程編成
・育成を目指す資質・能力を踏まえたカリキュラム・マネジメントの実現
３　教職員の資質・能力の向上と後継者育成
・所属職員のライフステージに応じた研修の促進
・関係機関と連携した後継者の発掘と育成の推進
４　研修活動による職能向上と組織体制の強化
・新学習指導要領の全面実施に対応した研修活動の推進
・会員相互の情報の共有化及び連携強化
・道小・道中研への積極的な参加と提言への取組の推進

地　区　だ　よ　り

『丁寧に，実直に取り組む校長会，まずは学校から』

十勝・下音更中　**山　本　　尚**

十勝小・中校長会は，管内18町村の小・中学校長94人で組織されている。４月13日に例年とは異なる形式で総会を開催し，活動がスタートした。本会は，「子供の成長の歴史に責任を負う」という校長の教育実践指標（昭和55年制定）を掲げ，会員相互の研さんに励み，公教育の役割と使命の遂行に努めてきた。今年度も諸先輩が築き上げてきた「十勝ならではの教育」を継承するとともに，「十勝らしい一人一人の学びの実現」を合言葉に，保護者・地域とともに「子供の確かな育ちの創出」に努める。

【活動の重点】(要約)

１　信頼に基づく創意工夫に満ちた活力ある学校経営に努める
２　協働体制の確立と信頼関係の深化を図り，組織体としての機能の充実に努める
３　研修を深め，主体性を確立し，教育上の諸問題の解決に努める
４　地域社会・関係機関との連携を強化し，教育諸条件の整備に努める
５　待遇改善・福利厚生等の向上を図るため，情報交換と要望活動の充実に努める

危機管理を最優先とした学校経営

帯広市・帯広第八中　**能　戸　貴　英**

帯広市中学校長会は，東海林弘哉会長（南町中）以下，14人の会員で組織されている。帯広市校長会の基本方針『未来を切り開く資質・能力を身に付けた帯広っ子の育成』の具現化を目指し，校長として透明化・共有化を意識しながら，帯広市民の負託に応える活動を推進している。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により，次々に難しい対応が求められている。『叡智を結集し羽撃く　中学校長会』を踏まえて，この１年間は，危機管理を最優先とし，教育課程を調整・展開していくためのエビデンスや幅広い情報提供に努める。また，中学校長ならではのスピード感等の特性を生かし，協力体制を強化していく。

【活動の重点】(要約)

１　危機管理を重視した学校経営の展開
（問題点の共有・先を見通した情報提供・学校経営への信頼度を高める取組・会議の短縮化）
２　既成概念を排除した教育課程の展開
（絶対要件と配慮事項の峻別 等）
３　主体性と多様性を生かした教育課題の解決
（研修の充実・服務規律の遵守・働き方改革 等）

子供のために最善を尽くす校長会

釧路・標茶中　**水　野　秀　哲**

釧路校長会は11人の採用校長を迎えました。釧路管内の小学校長24人，中学校長17人，小中併置校長４人，義務教育学校長１人の総勢46人で構成されています。今年度，佐野哲哉会長を中心に，「５項目の方針」を確認し活動を開始しました。

【運営方針】(要約)

１　釧路の風土に根ざす学校づくり」の経営感覚を磨き，職能の向上に努め，諸課題を解決する。
２　地域や保護者の信頼や期待に応え，「子供たちや教職員が明るく，楽しく学べる環境づくり」を志向する学校経営に努める。
３　新学習指導要領の趣旨に基づき児童生徒の「生きる力」を育む教育課程を編成・実施・評価し，改善を図りながら自校の課題解決にあたる。
４　教育関係団体，特に町村教育委員会と町村校長会との連携協力を密にし，教育の動向や情報の共有と今日的な課題への対応・解決に向け，迅速に行動するよう努める。
５　円滑な学校経営を目指し，釧路校長会綱領の趣旨に基づき，会員個々の意識を高めるとともに相互の絆をより一層深められるよう努める。

情報を共有し,今日的課題や情勢の変化に的確に対応する校長会

釧路市・桜が丘中　**青　木　　悟**

釧路市中学校長会は，新会員５人（新採用１人）を加えた15人の会員で，今年度の活動をスタートした。秋保会長の強いリーダーシップのもと，釧路市教育推進基本計画や釧路市教育行政方針を具現化するため，校長相互が情報を共有し，今日的な課題や情勢の変化に的確に対応する校長会を目指す。

【活動方針】(要約)

１　「命の尊さ」を第一とし，危機管理意識の醸成及び危機管理への対応を継続的に取り組む。
２　「社会に開かれた教育課程」の実現とともに「カリキュラム・マネジメント」の取組を推進する。
３　服務管理の適正化に努め，秩序ある学校運営を推進する。
４　自らの研さんと教職員の資質・能力を高める工夫や教職員の意識改革に努める。
５　職能，専門性を高める研修を組織的に推進する。
６　諸課題に対して情報を共有し，一枚岩で取り組む。
７　会の独自性を発揮し，効果的な組織運営に努める。
８　行政及び関係機関との連携を密にし，学校運営上必要な諸課題の整備促進に努める。
９　組織の充実と会員相互の結束強化，親睦を図る。

地　区　だ　よ　り

自らの意思と協同の力「チーム根室」を目指して

根室・啓雲中　**二本柳　千　尋**

根室管内小中学校校長会は，新採用校長２人を迎え，「継承と発展」を合い言葉に，管内教育を推進していく。今年度は，全41校の校長がそれぞれ「チーム根室」を強く意識し「根室の風土を生かし，心豊かにたくましく生きてはたらく力をはぐくむ社会に開かれた学校教育の創造」を目指して活動する。

【活動方針】（要約）

１　教育をめぐる諸情勢を的確に捉え，校長の抱える問題を組織として共有化を図る。
２　信頼される公教育の確立を図り，関係機関と連携しながら適切な対応に努める。
３　校長の学校経営力の向上を図り，地域に開かれた学校経営の改善・充実に努める。

【活動の重点】

１　家庭や地域社会に信頼される学校づくりの推進
２　社会に開かれた教育課程の実現を図る教育課程の編成・実施と評価・改善
３　研修活動の推進
４　教育諸条件の整備・充実
５　教職員の待遇改善の推進
６　校長会の業務改善と組織強化の推進

～オホーツクの子どもたちのために，志を高く掲げ,力強く前進する校長会～

オホーツク・網走第二中　**垣　内　孝　仁**

オホーツク管内校長会は，前年度の中途採用を含めて17人の採用校長を迎え，総勢124人の会員で令和２年度をスタートした。

今年度は新型コロナウイルス感染症に対応するため，紙面での総会とし４月11日をもって吉田昌広新会長を選出し，子供たちが多様な人々と協働し創造的に生きていくための資質・能力の育成を図ること，さらに学校における働き方は緊急且つ重要な課題として対応することなどが確認された。その実現のために「チームオホーツク管内校長会」として，活力ある学校づくりに全力で取り組み，厳しい教育情勢を乗り越える決意を新たにした。

【活動の重点】（要約）

１　愛情と信頼に基づく，活力ある学校経営の推進
２　「生きる力」を育む教育課程の編成・実施
３　時代の変化に即した生徒指導の充実
４　校長の資質・能力の向上を図る研修活動の推進
５　教職員の資質・能力の総合的な向上
６　組織内や関係機関との連携による組織強化
７　教育諸条件の改善と整備・充実
８　教職員の処遇改善

〈論　文〉

「地域とともにある学校」をめざして
～連携協力体制の現状と課題解決への一歩～

遠別町立遠別中学校　**田　中　幸　治**

１　はじめに

新学習指導要領では「これからの時代に求められる教育を実現していくためには，より良い学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し，（中略）社会に開かれた教育課程の実現が重要となる」と述べられ，また，「地域とともにある学校」というキーワードには，「開かれた学校」から更に踏み出し，様々な外部機関や地域と連携・協働した具体的な教育活動の取組が求められている。ここでは，本校及び本町における取組の一端を紹介したい。

２　本町及び本校の概要

遠別町は，稲作とメロンの北限として質の高い農業，ホタテ稚貝の養殖やタコ・ヒラメ等の水産業，乳牛を中心とした酪農業など，幅広い第一次産業が中心の街である。また，遠別町は，カナダにあるキャッスルガー市と姉妹都市提携を結んでおり，中学生のキャッスルガー訪問とキャッスルガー市からの訪問団受け入れを隔年で行っている。遠別中学校は生徒数52人の小規模校であり，小中学校とも統廃合が進み町内には小中それぞれ１校のみである。高校は遠別農業高等学校があり，地域の特産品を活用した商品開発にも力を入れており，近年は道内はもとより道外からの入学者も増えている。

３　地域とともに

⑴　小学校との連携

年間を通した各教科サークルによる研修に加え，年に２回小中それぞれの教員が互いに授業参観を行う「小中授業交流週間」を設け，小中一貫した授業規律や９年間を見通した指導計画の工夫改善などについて意見交換を行っている。

小学校への中学校教員乗り入れ授業は，中学校の授業に興味関心をもたせることを主たる目的として英語や技能教科を中心に行っている。今年度，本校が「小・中・高等学校英語教育支援事業」推進校となったことから，小学校の外国語活動で年間25時間程度の乗り入れ授業を行い，学びの連続性を意識した指導体制の整備や学習目標の達成状況の把握に基づく指導方法の改善に取り組み，また，小学校・高等学校との合同研修会を開催し，公開授業や実践発表を通して成果と課題を共有していく予定である。

⑵　高校との連携

遠別農業高校は，自校で生産・加工した商品開発による地域の活性化や流通に関する経験・実践を積み上げるなど，農業だけではなく幅広い産業人の育成に力を注いでいる。本校では技術・家庭において栽培や食品製造・調理，特別の教科道徳と関連させ高校で飼育している羊の出産・飼育・食肉加工を通した「生命の尊さ」に関する授業など，専門的知識・技術を学ぶことで，生徒の興味関心を引き出すとともに進路選択の幅を広げることを目的とした連携授業を実施している。これらの授業では，高校の教員による指導に加え高校生から指導を受ける場面も多く設定されており，中学生に対する指導を通し，教育に関して興味をもった高校生が，本校をインターンシップ先に選ぶという効果も見られた。

⑶　関係機関・地域との連携及び支援

総合的な学習の時間「地域学習」の中で地元漁協の協力を得てホタテ稚貝の分散・選別作業体験や稚貝養殖に関する講話，美術科における陶芸愛好会会員による陶芸教室，体育科における武道の授業での指導者派遣，町からは全校生徒分のタブレット端末整備や補助教材費購入補助など，多岐にわたり御協力と御支援をいただいている。生徒は，このような支援に感謝し，期待に応えようと地域イベントやボランティア活動に積極的に参加している。

４　おわりに

新型コロナウイルス感染症の影響により，授業時数の確保をはじめ，様々な行事の見直しが求められている。今回紹介させていただいた本校の取組も時数確保が困難な状況にあるが，このような状況になる以前から，各事業・授業についての内容を見直していたところであった。それは「各学校や関係機関との連携を生かし，生徒が継続した経験・実践を積み上げる中で，学びを深め，より主体的な学習となるようにしたいという」課題意識をもった教師からの声がきっかけであった。昨年度から本町においても地域連携協議会がスタートし，多くの地域関係者の方々から中学校に対する期待の声が寄せられている。学校経営のキーワードに『生徒起点』，『地域基盤』という言葉を用い，それに応えてくれる頼もしい教職員に感謝しながら，一つ一つの課題に対応していきたい。

薫　　陶

神恵内村立神恵内中学校　**広　島　　孝**

校長としての究極のリーダーシップは，「薫陶」であると考えている。「薫陶」とは，香りを染み込ませた土を使って陶器を作るという意味から，指導者に影響されてじっくりと人格が形成されていくことを表す，今では死語に近い言葉であろう。直接「ああしなさい，こうしなさい」と伝えるのではなく，指導者の態度や徳の高さを見せることで，自然と周りの人が影響を受け，成長していくことを表している。孫子の兵法ではないが，「戦わずして勝つ」ならず「言わずとも導かれる」状態である。要するに，自らの人格をもって相手の「人格を陶冶する」こと。また，これこそが最高の教育の姿であると考えている。

皆さんが薫陶を受けてきた人物はどのような人物であろうか。自分が師と仰いできた人物の姿を思い浮かべてほしい。その姿はそれぞれであろうが，総じて人格的魅力にあふれている人物ではないだろうか。

しかし，自分自身はどうなのだ，貴方は人格的魅力にあふれているの？と問われるとてんで自信がない。むしろ自信があるという人がいたらお目にかかりたい。そのような人は相当に傲慢で謙虚さに欠ける人物である可能性が高い。だからこそ，私は人格を磨き高め，完成を目指していかなければならないのだ。

我が国の教育の目的は，教育基本法に掲げられている「人格の完成」を目指すことである。人格の完成とは，『個人の価値と尊厳との認識に基づき，人間の具えるあらゆる能力を，できる限り，しかも調和的に発展せしめること。真，善，美の価値に関する科学的能力，道徳的能力，芸術的能力などの発展完成。人間の諸特性，諸能力をただ自然のままに伸ばすことではなく，普遍的な規準によって，そのあるべき姿にまでもちきたすことでなければならない』。これは教育基本法制定当時の表現であるが，今でもその意味するところを十分に感じ取ることができる。

教育活動を通じて子供たちの人格の完成を目指すと同様に，あるいはそれ以上に，私たちは覚悟をもって，生涯にわたり人格の完成を目指していかなければならない。それは，予測困難な時代であっても，教育の目指すべき普遍の星といえるであろう。

校長として，人格を磨き高めようとする姿に感化され，子供たちや教職員の人格が陶冶される姿が見えたならば，教育人としてはこの上ない喜びであろう。それこそがまさに「薫陶」が見える瞬間だ。

タフを伝える人間に

小樽市立菁園中学校　**名　取　俊　晴**

弥生３月，例年は卒業や進級に向けて希望に満ちあふれた校舎に，子供の姿はありませんでした。生徒はもちろん，私たち教職員にとってもつらくさみしい日々となりました。新型コロナウイルスの感染拡大には，学校の存在意義を改めて考えさせられました。同時に，自分の無力感にもさいなまれました。しかし，いつまでも下を向いてはいられません。未来を生き抜く子供たちにどのような力をつけさせたら良いのか，また，自分自身の心のあり方についても考えてみました。

私たちの暮らす北海道はかつて「蝦夷地」と呼ばれ，開拓が遅れたところです。鉄道やバスもなく，歩くか馬に乗るしか交通手段はない頃，アメリカのマサチューセッツ農科大学の学長である，クラーク博士が１年間の約束で学校をつくり（北海道大学の前身），農業を教えるために札幌にきました。農業ばかりでなく，この厳しい環境で生きていくために工夫と努力が大切であると説き，職責を果たし，アメリカに帰るときに，「少年よ大志を抱け」というあの有名な言葉を残していきました。厳しさの中で，困難を乗り越え，未来を切り拓くために力をつけよ！と言いたかったのかもしれません。現在の北海道は先人たちの流した汗により，大きく発展し世界的にも有名になりました。その苦労や犠牲は伝え聞くしかありませんが，北海道に生まれて良かったと思いますし，誇りにも思います。しかし，便利さの中で，平和な当たり前に慣れ，大志を忘れ，文明に麻痺している自分がいます。本校の校長室には「北の国から」で有名な脚本家，倉本聰先生から頂いた色紙を飾っています。「あなたは文明に麻痺していませんか　車と足はどっちが大事ですか　石油と水はどちらが大事ですか」この言葉からは，いつも，力強い一歩を踏み出す勇気をもらっています。今こそ先人や，現在，様々な分野で活躍されている人たちの努力や知恵から学び，過去から未来へとつながるときを，力強く前進していきたいものです。

３月になり，生徒にこの３年間でつけたい４つの力を経営計画に盛り込みました。将来を描く設計力。困難や変化に対する対応力。人と仲よく生きる協働力。理解し合い切磋琢磨し成長する対話力。世界困難の中，まずは自分から，明日を生き抜くタフな心をもち，伝える役割を果たしたいと思っています。

文　芸

一日も早い，治療法の確立を願って

滝川市立江部乙中学校　**鳥谷部　賢　太**

現在，新型コロナウイルス感染症が，世界中で猛威を振るい，毎日たくさんの人命が失われています。「道中だより 370 号」が発行される６月には，終息していればよいのですが，この原稿を書いている時点では，全国に非常事態宣言が出されており，北海道は「特定警戒都道府県」に指定されています。そのため，私たちの生活も学校が臨時休業となっているだけではなく，外出自粛要請や飲食店等の営業自粛要請など様々な面に影響が出ています。そこで，細菌やウイルスについて少し調べてみました。

人類と感染症の関わりは古くからあり，エジプトのミイラからは天然痘に感染した痕が確認されています。ウイルスや細菌の歴史が人類の誕生より先にあったとすれば，人類の発祥とともに感染症との闘いの歴史が始まったと考えられます。中世ヨーロッパにおいて人口の３分の１が死亡したといわれるペスト。世界中で５億人以上が感染し，死亡者数が 2,000 万人とも 4,000 万人ともいわれる 1918(大正７)年からのインフルエンザ。これらに対して，人類はワクチン開発や抗生物質の発見などにより，感染症の予防や治療方法を進歩させてきました。

近代医学に貢献した日本人といえば，野口英世，志賀潔，北里柴三郎などが誰でも頭に浮かぶのではないでしょうか。そこで，今回は野口や志賀の師匠であり，近代日本医学の父と呼ばれる北里柴三郎に視点を当てたいと思います。北里は，東京医学校(現在の東大医学部)に入学し，医学博士を取得後，ドイツのベルリン大学へ留学しました。そこで，細菌学の権威であったコッホのもとで研究を重ね，世界で初めて「破傷風菌の培養」に成功すると同時に抗体をつくりだす技術を確立します。その後，黒死病と恐れられていた感染症の原因である「ペスト菌」を発見しました。この北里柴三郎は「人に熱と誠があれば何事も達成する。世の中は決して行き詰まらぬ。もし行き詰まったとしたら，それは人に熱意と誠意がないからだ」という言葉を残しています。

世界中の科学者や医療関係者が，熱と誠をもって懸命に取り組んでくださっている今，私たちの生活が平穏な毎日に戻るためにも，一日も早く新型コロナウイルス感染症に効果的な抗ウイルス薬が開発されることを祈るとともに，それまでは節度ある生活を心がけていきたいと思う毎日です。

受賞おめでとうございます

令和元年度文部科学大臣表彰（教育者表彰）を受賞されました。

☆ **新　沼　　潔　様**（北海道中学校長会前会長　登別市立緑陽中学校　前校長）

道中事務局日誌

月	日	曜	業　務	時間	場　所
4.	1	水	~~第1回事務局研修会（五役，筆頭副会長，幹事，専任職員）~~	15:30	~~ばらと北1条ビル 中止~~
	2	木	~~第1回小中合同研修会(五役)~~	15:00	~~道小事務所 中止~~
	4	土	令和元年度運営委員交流会（会長，事務局長，会計理事，運営委員，専任職員）	10:30	道中事務所
			~~第1回副会長研修会(五役，副会長，専任職員)~~	13:30	~~ライフォート札幌 中止~~
			~~第1回理事研修会（五役，副会長，地区理事，事務局員，専任職員）~~	14:00	~~ライフォート札幌 中止~~
	10	金	~~第2回小中合同研修会(五役)~~	15:00	~~道小事務所 中止~~
	16	木	~~五役研修会(五役)~~	13:00	~~道小事務所 中止~~
			~~第3回小中合同研修会(五役)~~	15:00	~~道小事務所 中止~~
	17	金	第2回事務局研修会(五役，筆頭副会長，幹事，専任職員)（書面開催）	~~10:00~~	~~ばらと北1条ビル~~
	28	火	第98回総会・研修会(五役，副会長，運営委員，幹事，代議員，専任職員)（書面開催）	~~10:00~~	~~ライフォート札幌~~
			第2回副会長研修会(五役，副会長，専任職員)（書面開催）	~~12:00~~	~~ライフォート札幌~~
			~~第1回専門部研修会~~	15:30	~~ライフォート札幌 中止~~
	29	水	~~第2回理事研修会（五役，副会長，地区理事，事務局員，専任職員）~~	10:00	~~ライフォート札幌 中止~~
	30	木	全日中令和元年度会計監査（Ｗｅｂ）5/19より変更(伊東)	10:00	旭　川　市

月	日	曜	業　務	時間	場　所
5.	11	月	~~臨時五役研修会(五役)~~	13:00	~~ばらと北1条ビル 中止~~
	12	火	~~第4回小中合同研修会(五役)~~	10:00	~~道小事務所 中止~~
			要望書提出(郵送)		道　教　委
	18	月	全日中理事会打合せ（Web）（鎌田）	14:00	岩 見 沢 市
	19	火	全日中第1回常任理事会(Web)(鎌田，伊藤)	13:00	岩見沢市，旭川市
	20	水	全日中第1回理事会(Ｗｅｂ・書面)(鎌田，木村，和田)	13:30	岩見沢市，札幌市中央中
	21	木	全日中総会(Ｗｅｂ・書面)(鎌田，木村，和田，佐竹，三浦利，黒川，笹川，各代議員)	10:00	岩見沢市，札幌市，小樽市
	22	金	~~全日中総会２日目(副会長，理事，編集協力委員，代議員)~~	９:30	青少年総合センター中止
6.	2	火	第3回事務局研修会(五役，筆頭副会長，幹事，専任職員)(書面開催)		
	6	土	~~臨時副会長研修会(五役，副会長，専任職員)~~	12:30	ライフォート札幌 中止 7/11へ
			~~臨時専門部研修会~~	13:00	~~ライフォート札幌 中止 7/11へ~~
			~~臨時理事研修会（五役，副会長，運営委員，地区理事，事務局員，専任職員）~~	14:00	ライフォート札幌 中止 7/11へ
	9	火	北海道教職員互助会第1回理事会(鎌田)	13:30	損保ジャパン札幌ビル
	11	木	部活動関係者会議（鎌田）	10:30	道庁別館
			臨時五役研修会(五役，専任職員)	13:00	ばらと北一条ビル
			第5回小中合同研修会(五役)	15:00	ライフォート札幌

北海道中学校長会
発行者　会長　鎌田　浩志
編集者　道　中　情　報　部
事務局　札幌市中央区北１条西３丁目
敷島プラザビル４Ｆ
TEL011-251-1344　FAX011-251-1302
http: // www.dochu-kochokai.jp

本誌の発行にあたっては，作成方法等の見直しにより経費の削減に努めています。